

58年度災害関連事業経緯表

(単位 千円)

工 市 町 村 工 事 種 別	河 川 名 等 別	年 次	補 助 率	当初調査額		改訂全体計画額		56年度精算額		57年度精算見込額		当初決定額による 58年度以降精算額		58年度以降残 事業費		58年度実施額		要 望 順 位	増 減 の 理 由		
				A		B = E + G		C		D		E = C + D		F = A - E		G				H	
				事業費	災害費	事業費	災害費	事業費	災害費	事業費	災害費	事業費	災害費	事業費	災害費	事業費	災害費			事業費	災害費
河 川	甲	56 / 2	1	10,000	5,000	9,800	4,850	4,500	2,700	5,300	2,150	9,800	4,850	200	150	0	0				
				5,000	2,500	4,950	2,425	1,800	1,350	3,150	1,075	4,950	2,425	50	75	0	0				
"	乙	"	"	(5,400)	(2,250)	(5,400)	(2,250)	(5,400)	(2,250)	(5,400)	(2,250)	(5,400)	(2,250)								
				20,000	10,000	21,400	10,150	5,400	2,250	9,000	5,400	14,400	7,650	5,600	2,350	7,000	2,500				
"	川	"	"	(3,150)	(1,125)	(3,150)	(1,125)	(3,150)	(1,125)	(3,600)	2,700	(3,150)	(1,125)	3,250	1,175	4,500	1,250				
				10,000	5,000	11,250	5,075	3,150	1,125	6,750	3,775	11,700	6,250	3,300	1,250	4,500	1,250				
"	小	"	"	(5,400)	(2,250)	(5,400)	(2,250)	(5,400)	(2,250)	(5,400)	(2,250)	(5,400)	(2,250)								
				30,000	15,000	31,200	15,000	9,900	4,950	14,300	7,550	24,200	12,500	5,800	2,500	7,000	2,500				
"	計	"	"	(3,150)	(1,125)	(3,150)	(1,125)	(3,150)	(1,125)	(3,750)	3,775	(3,150)	(1,125)	3,300	1,250	4,500	1,250				
				15,000	7,500	16,200	7,500	4,950	2,475	11,700	6,250	11,700	6,250	3,300	1,250	4,500	1,250				
"	町	丙	"	10,000	5,000	11,500	5,700			4,500	2,700	4,500	2,700	5,500	2,300	7,000	3,000				
				5,000	2,500	5,800	2,850			1,800	1,350	1,800	1,350	3,200	1,150	4,000	1,500				
"	小	"	"	10,000	5,000	11,500	5,700			4,500	2,700	4,500	2,700	5,500	2,300	7,000	3,000				
				5,000	2,500	5,800	2,850			1,800	1,350	1,800	1,350	3,200	1,157	4,000	1,500				
市町村指導 監督事務費											13					15					
56災河川計				40,000	20,000	(5,400)	(2,250)	(5,400)	(2,250)	18,800	10,250	(5,400)	(3,250)	11,300	4,800	14,000	5,500				
56災河川計				20,000	10,000	(3,150)	(1,125)	(3,150)	(1,125)	8,550	5,138	(3,150)	(1,125)	6,500	2,400	8,500	2,765				
56災河川計				22,000	10,378	22,000	10,378	4,950	2,475	13,500	7,613	13,500	7,613								

(注)1 当初決定は町村河川であつたが後に県河川となつたものについては事業主体が、町村河川であつた年度分を()書とし、内書とすること。

2 G欄については実際の残工事額を計上すること。

3 急傾斜地については、関連費、国費の2段階欄を上から関連費、受益者負担金の額、補助基本額、国費の4段階とすること。